



子ども達のはぐくみ、地域社会に貢献する

募金・寄付を核とした

サービス・ラーニングのご紹介



2012年5月
公益社団法人日本フィランソロピー協会

1. サービス・ラーニングとは

「サービス・ラーニング」とは、地域社会のニーズに応える社会貢献活動と、教科学習を結び付ける取り組みで、アメリカで 1980 年代以降に始められました。市民性教育（Citizenship Education）とも呼ばれ、青少年が、自分自身がコミュニティを構成する一員であることを自覚する力を養い、将来、自立した市民としての役割を果たせるよう、地域社会への積極的参加を行う素養の育成などがその目的とされています。筑波大学による定義では、「教室で学ばれた学問的な知識・技能を、地域社会の諸課題を解決するために組織された社会的活動に生かすことを通して、市民的責任や社会的役割を感じ取ってもらうことを目的とした教育方法」とされています。

今回ご紹介する「募金・寄付を核とするサービス・ラーニング」は、米国の市民団体コモン・センツによるサービス・ラーニングプログラム「ペニーハーベスト」を参考にしたもので、子ども達が自分達の住む地域社会を学び、地域の課題を解決するために募金活動やボランティア活動を行ない、また募金の寄付先の選定のためのディスカッションなどを通して、自己有用感を高め、「地域社会に貢献する」プロセスを学ぶ取り組みです。

<「ペニーハーベスト」とは>

米国・ニューヨークの市民団体コモン・センツ（Common Cents）が、1991 年に始めたサービス・ラーニングプログラム。4 歳から 14 歳の子どもを対象とし、子ども達が保護者と共に地域コミュニティを回り、各家庭に眠っているペニー（小銭）の募金を呼びかける活動。事前に地域課題の調査を行ない、解決したい課題は何か、何のために募金をするのかを話し合いによって決定する。また募金後も、地域のどの団体へ寄付を行なうのかを子ども達自身が決めるのが特徴。募金は、子ども達が企画・実行するボランティア活動の資金としても使うことができる。

小中学校における 1 年間にわたるカリキュラムとして展開され、2009 年、NY 州で 926 校が参加。これまでに集まった募金額は延べ 770 万ドル（約 6 億 4 千万円）に上る。

【ペニーハーベストの効果】

- 「自分達には何かを変える力がある」と、生徒が信じるようになった。
- 生徒のコミュニケーション能力が高まった。
- 学校がより地域と連携できるようになった。

（米コロンビア大学による調査）



2. 募金・寄付を核としたサービス・ラーニング

【目的】

①子どもの人間としての成長を促進

■自己肯定感の醸成

ー自分がかげがえのない存在であること、思いやりのある道徳心を持った人間になること、そして、社会の一員としての責任を持つこと、の3つを理解できる子どもを育てる。

■リーダーシップ力の向上

ー他者に働きかけることを通じ、自らの役割認識、チームワーク力、表現力、コミュニケーション力、問題解決能力を身につける。

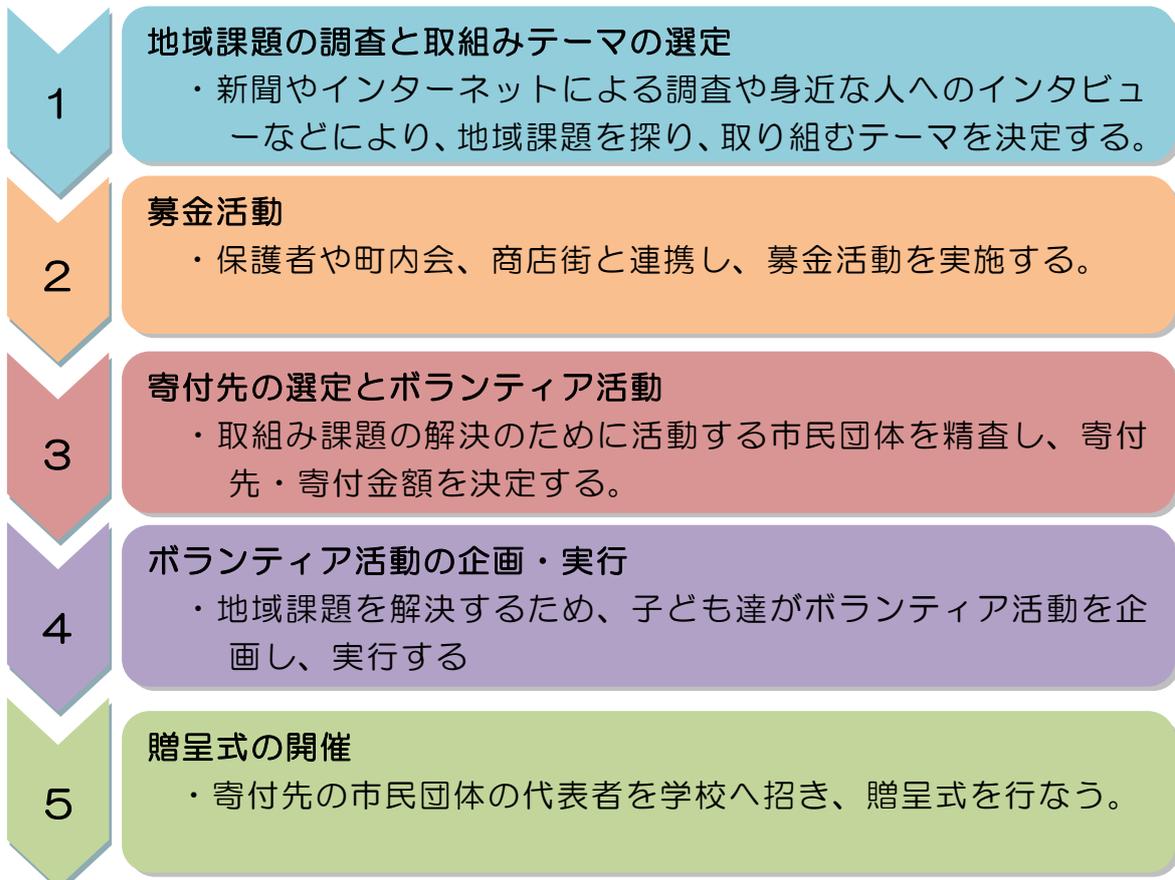
②募金活動を通しての学校と地域社会の連携促進

地域社会への募金呼びかけと、市民団体への寄付を通して、自分達の暮らしを支える「お金」の活かし方について深く考え、実践する。このプロセスを通して、地域や周囲の人たちへの愛情を醸成すると共に、子ども達、教師、保護者、地域社会とが連携してより良い社会に向けて取り組む機会を生む。

③日本に寄付文化を醸成

行政依存だけでは豊かな社会福祉が立ち行かない今日、「民間が担う公益活動」に期待が寄せられている。日本社会に個人の寄付文化が醸成されていない現状の中、子ども時代から寄付活動に慣れ親しむための機会とする。

【ステップ】



3. サービス・ラーニングに取り組んでみませんか？

日本フィランソロピー協会は、子ども達の自己有用感を高め、地域社会の一員として課題解決に取り組む「募金・寄付を核としたサービス・ラーニング」に取り組む学校や団体をサポートします。

【対象】

サービス・ラーニングに取り組む学校（総合的な学習の時間などのカリキュラム、生徒会・クラブ活動等）、学童保育、または地域のPTA・おやじの会・子ども会、青少年教育を行なう市民団体。

【サポート内容】

●プログラム立案

参加学校、団体によって、子ども達の人数や年齢、構成、また環境も異なることから、それぞれの参加主体に沿った形で、先生方と協力し、プログラムの立案・実行をサポートします。

●ツールの提供

プログラムを進めるにあたって、先生や子ども達へのマニュアルやその他配布資料等の作成について、必要に応じてツールを提供します。

●関係団体との連絡・調整

必要に応じて、学生団体・市民団体によるファシリテーターの派遣や、企業訪問、寄付先団体、地元協力団体との連絡・調整をサポートします。

●情報提供、情報交換の場の提供

全国で「募金・寄付を核とするサービス・ラーニング」に取り組む学校・団体同士の情報交換のツール（ホームページ、メーリングリスト等）の提供、及び説明会、研究会、報告会等、実際に集まる機会を提供します。

【事務局】お気軽にご連絡下さい。

公益社団法人日本フィランソロピー協会（桑名・宮本・藤川）

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244区

TEL：03-5205-7580 FAX：03-5205-7585

E-mail：office.2011@philanthropy.or.jp URL：<http://www.philanthropy.or.jp>

公益社団法人日本フィランソロピー協会は、1991年より、民主主義の健全育成を目的として、個人や企業のフィランソロピー（社会貢献）活動を推進しています。その一環として、全国における青少年の募金・寄付活動を称える顕彰事業「青少年フィランソロピスト賞」（文部科学省後援）を創設するなど、日本における寄付文化の醸成を目指して各種事業を展開しています。